



のびていこう
一本杉のように
やさしく
かしこく
たくましく



千葉市立本町小学校
校長 樋口 雅也

本校は、千葉市内でも最も歴史のある学校の一つとして、明治6年（1873 年）、現在の千葉神社である妙見寺を仮校舎として「池田小学校」として開校し、明治 40 年に現在の地に移転しました。時代の推移により、何度か校名変更がなされましたが、昭和 22 年の新学制により「千葉市立本町小学校」と改称され、現在に至っています。今年は、創立 153 年目を迎えます。

明治以来、子どもの自主性や主体性を大切に、常に時代を先取りした教育研究・実践を積み重ねてきた本校の教育活動は、市内はもとより県下、全国的にも高い評価をいただいております。これは、歴代の教職員の研鑽と努力のみならず、保護者や地域の皆様の長年にわたる深いご理解と愛情あふれるご支援の賜物であると考えております。令和7、8年度の2年間は千葉市の研究指定を受け、「学ぶことを楽しむ児童の育成」を主題に研究に取り組むとともに、令和8年度の「全国小学校理科研究協議会研究大会千葉大会」の会場校としての授業公開も予定しております。

正門脇には、明治 40 年の校舎新築記念樹「一本杉」があります。すでに 100 年以上の時が経過していますが、風雪や戦火にも耐え、本校の教育活動や子どもたちの成長をあたたかく見守り続けています。本校のシンボルであり、全校の児童から愛されています。今年もまた、美しい若芽が伸び始めました。

本校は4月現在、全校児童数 351 名、特別支援2学級を含む 14 学級でスタートしました。「自主 自律 自学」を校訓とし、学校教育目標である「人間性豊かな 自主的 創造的 実践力のある子どもの育成」の具現化に向け、日々の教育活動を展開しています。

一本杉のように、子どもたちが「やさしく かしこく たくましく」成長していけるよう、教職員一同、全力で子どもたちを支援し、笑顔いっぱいの学校にしていきたいと思います。

今後とも、本校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。